



AppleSeed for IT プログラムプランニングガイド

目次

概要

プログラムの特長

適切なプログラムの選択

プログラムへのアクセス

デバイスの設定

ベータ・ソフトウェアのテスト

まとめ

概要

AppleSeed for ITは、新しいバージョンのAppleのベータ・ソフトウェアのテストに取り組むエンタープライズと教育機関のお客様を対象としたプログラムです。このプログラムでは、IT担当者やテクノロジーの管理者に対し、自社の作業環境で最新バージョンのプレリリースソフトウェアを評価できる機会を提供します。また、専用のバグレポートプロセスによりAppleのエンジニアリングチームに直接フィードバックを送ったり、詳細なテスト計画やほかの参加者とのディスカッションに参加したりすることができます。

あなたの組織で新しいソフトウェアをうまく機能させるためには、あなたのフィードバックが非常に重要です。私たちにフィードバックを送ることで、リリース直後のテクノロジーでもサポートが受けられるという信頼感がユーザーに生まれます。

プログラムの特長

プレリリースソフトウェア

Appleは、オペレーティングシステムのアップデートを配信して強化された機能や新しい機能をユーザーに提供すること、また新たに発生したセキュリティ上の懸念に対処することで、業界をリードしています。アップデートはサポートされているすべてのデバイスに一斉に提供されます。AppleSeed for ITでは、ソフトウェアがユーザーにリリースされる前に、組織のIT部門が事前準備としてベータ版をテストすることができます。あなたの組織の動作環境におけるソフトウェア機能の品質、使いやすさ、統合性、操作に関するフィードバックは、Appleが問題の特定と解決を図り、最終版のソフトウェアリリースをさらに優れたものにするために役立ちます。

テスト計画と調査項目

テスト計画は詳細にわたり、様々なワークフローでベータ・ソフトウェアが適切に動作するかどうかを評価できるように作成されています。リグレーションテストを組み合わせることでソフトウェアが以前のリリースと同様に動作するかを確認できるほか、新機能テストで最新機能の有効性を検証することも可能です。また、テストに合わせて特定のトピックや領域に関する調査も実施します。こうした調査に参加すれば、ソフトウェアの機能をよく理解し、組織にもたらす影響を評価する機会にもなります。

専用のレビューキュー

プログラムの参加者には、すべてのソフトウェアのビルドをテストし、テスト中に問題が見つかった場合はフィードバックを提出するようお願いしています。AppleSeed for ITプログラムで提出されたすべてのフィードバックは、専用のレビューキューに送られます。これにより、バグレポートや機能拡張のリクエストがAppleの担当者すみやかに届きます。

サポートコミュニティ

プログラムの参加者は、AppleSeed for ITのサポートコミュニティにアクセスできます。プログラムを始めるところから最新のベータ・ソフトウェアに関する内容まで、AppleSeed for ITプログラムのほかの参加者と共に、質問を投稿したり、コメントを共有したり、ITに関する様々なトピックを話し合ったりできます。

適切なプログラムの選択

AppleSeed for ITは、自社のネットワーク環境でAppleのベータ・ソフトウェアをテストしようと考えているIT管理者とマネージャーを対象としています。このプログラムは、アプリケーションの互換性をテストしたり、アプリケーションを配布したりするためのものではありません。iPhone、iPad、Mac、Apple Watch、Apple TVのアプリケーションの開発、テスト、配布をお考えの場合は、Apple Developer Programに登録してください。エンタープライズでのiOS、iPadOS、Macの社内アプリケーションについてお考えの場合は、Apple Developer Enterprise Programに登録してください。

詳しくは、以下のウェブサイトを参照してください。

Apple Developer Program : developer.apple.com/programs/jp

Apple Developer Enterprise Program : developer.apple.com/programs/enterprise/jp

プログラムへのアクセス

Apple Business ManagerまたはApple School Managerをお使いのお客様は、AppleSeed for ITに参加できます。参加するには、所属する企業または教育機関が提供する管理対象Apple IDと、その管理対象Apple IDに関連付けられているEメールアドレスが必要です。生徒用の管理対象Apple IDでは参加できません。

アカウントを有効にする

対象となる管理対象Apple IDを用意できたら、以下の手順に従ってプログラムにアクセスしてください。

1. appleseed.apple.comにアクセスし、「サインイン」ボタンをクリックします。
2. あなたの管理対象Apple IDを使ってログインします。
3. プログラム利用規約を読み、同意します。

この手順を実行すると、プログラムへの参加が有効になります。

プログラムの登録解除

AppleSeed for ITからアカウントを完全に削除する場合は、管理対象Apple IDを削除または無効にします。登録を解除すると、フィードバックアシスタントによるフィードバックの提出やプログラムリソースへのアクセスができなくなります。

デバイスの設定

AppleSeed for ITプログラムの参加者は、AppleSeed Software Customer Seeding ウェブサイトappleseed.apple.comにサインインできます。プログラムのポータルから、リリースノート、ベータ・ソフトウェア、プログラムに関するお知らせ、ドキュメントにアクセスすることが可能です。また、ここでバグレポートを管理することもできます。

データのバックアップ

プレリリースソフトウェアをインストールする前に、必ずファイルをバックアップしてください。

iPhone

iOSのベータ・ソフトウェアをインストールする前に、iPhoneをバックアップすることをおすすめします。現行バージョンのiOSに戻した場合、iCloudバックアップは利用できません。

iPad

iPadOSのベータ・ソフトウェアをインストールする前に、iPadをバックアップすることをおすすめします。現行バージョンのiPadOSに戻した場合、iCloudバックアップは利用できません。

Mac

Mac上のファイルのバックアップは、macOSに内蔵されているバックアップユーティリティのTime Machineを使用すると簡単に行えます。

Time MachineでMacをバックアップする方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/HT201250

リリースノートの確認

Appleのベータ・ソフトウェアをインストールする前に、リリースノートで、新しい機能や変更された機能に関するニュースと主なポイントを確認します。最新のノートはAppleSeedポータルの「Info」タブで確認することができます。各プレリリース版のノートは、チームのベータ版テスターに各自探させるのではなく、メールで通知するとよいでしょう。

ベータ・ソフトウェアのインストール

デバイスを登録し、最新のiOS、iPadOS、macOS、watchOS、tvOSのベータ・ソフトウェアを受信するようにします。

iOS

iOSのベータ・ソフトウェアをインストールするには、デバイスにiOS Beta Software Profileをインストールする必要があります。デバイスでiOSベータ版を実行すると、新しいバージョンのベータ・ソフトウェアをワイヤレスでインストールできるようになります。新しいビルドが利用可能になると、あなたのチームにEメールの通知が送信されます。また、デバイスにも通知が送信されます。

「設定」>「一般」>「プロファイルとデバイス管理」の順でタップし、以前のBeta Software Profileを必ず削除してください。この手順が完了したら、お使いのiOSデバイスからAppleSeedポータルにログインして「Downloads」をタップし、Beta Software Profileをダウンロードします。インストールを促すメッセージがデバイスに表示されます。画面の指示に従ってインストールを許可し、デバイスを再起動します。

最新の公開されているベータ版のソフトウェアをワイヤレスで自動的に受信します。アップデートが利用可能になったことを知らせる通知を受信したら、「設定」>「一般」>「ソフトウェア・アップデート」の順にタップし、最新バージョンのベータ・ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。

iPadOS

iPadOSのベータ・ソフトウェアをインストールするには、デバイスにiPadOS Beta Software Profileをインストールする必要があります。デバイスでiPadOSベータ版を実行すると、新しいバージョンのベータ・ソフトウェアをワイヤレスでインストールできるようになります。新しいビルドが利用可能になると、あなたのチームにEメールの通知が送信されます。また、デバイスにも通知が送信されます。

「設定」>「一般」>「プロファイルとデバイス管理」の順でタップし、以前のBeta Software Profileを必ず削除してください。この手順が完了したら、お使いのiPadからAppleSeedポータルにログインして「Downloads」をタップし、iPadOS Beta Software Profileをダウンロードします。インストールを促すメッセージがデバイスに表示されます。画面の指示に従ってインストールを許可し、デバイスを再起動します。

最新の公開されているベータ版のソフトウェアをワイヤレスで自動的に受信します。アップデートが利用可能になったことを知らせる通知を受信したら、「設定」>「一般」>「ソフトウェア・アップデート」の順にタップし、最新バージョンのベータ・ソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。

macOS

macOS Customer Beta Access Utilityにより、Macをプログラムに登録し、最新のmacOSソフトウェアアップデートのシード版ビルドをMac App Storeから入手することができます。AppleSeedポータルの「Downloads」タブからmacOS Customer Beta Access Utilityをダウンロードします。ダウンロードが完了したら、ユーティリティの.dmgファイルをダブルクリックしてインストーラを実行し、画面の指示に従います。

インストールが完了すると、システム環境設定が自動的に起動します。最新のmacOSソフトウェアアップデートのシード版ビルドをインストールします。

watchOS

watchOSベータ版をインストールするには、watchOS Beta Software Profileをインストールする必要があります。また、watchOS 6ベータ版には、Apple Watch Series 2以降、およびiOS 13ベータ版を搭載するiPhoneが必要です。Apple Watchのバッテリー残量が50%以上あり、iPhoneがWi-Fiに接続されていることを確認します。確実に通信できるよう、iPhoneをApple Watchの横に置いておきます。

「Downloads」セクションから構成プロファイルをダウンロードします。

iOSデバイスの場合：構成プロファイルをiOSデバイスに直接ダウンロードし、インストール手順に従います。

MacまたはWindowsパソコンの場合：ファイルをストレージに保存し、iPhoneで使用しているアカウントにメールで送信します。「メール」で構成プロファイルをタップし、インストール手順に従います。

プロファイルを開いた後、インストール先としてApple Watchをタップし、再起動が求められたら再起動します。

iPhoneでApple Watch Appを開き、「マイウォッチ」>「一般」>「ソフトウェア・アップデート」の順にタップします。

iPhoneのパスコードまたはApple Watchのパスコードを入力するよう求められたら、パスコードを入力します。

Appleのロゴと進捗インジケータが表示されるのを待ちます。アップデートが完了すると、Apple Watchが再起動します。

Apple Watchに関するサポート

Apple Watchに赤い「!」のアイコンが表示された場合は、Apple Watchを強制再起動してください。サイドボタンとDigital Crownを同時に10秒以上押ししたままにし、Appleのロゴが表示されたら指を離します。

Apple Watchを強制再起動しても問題が解決しない場合、Apple Watchがリカバリモードで再起動する場合、またはその他の問題が発生したため現行バージョンのwatchOSに復元する必要がある場合は、Apple WatchをAppleに送って修理サービスを受ける必要がある場合があります。この修理は、Apple正規サービスプロバイダやApple Storeで実施することはできません。Appleへの到着後、デバイスの修理には最大3営業日かかります。修理の完了後にお返しするデバイスは、お送りいただいたデバイスと同じデバイスとなります。この修理サービスは現在、オーストラリア、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、スイス、英国、米国でご利用いただけます。

サポートプロセスを始めるには、[AppleCareに連絡](#)します。

tvOS

Apple TV 4KまたはApple TV (第4世代)にtvOSをインストールする場合は、2つのオプションがあります。

オプション1: 自動アップデート

1. AppleSeed for ITプログラムで使用しているものと同じApple IDを使って、Apple TVからiCloudにログインします。
2. 「設定」>「システム」>「ソフトウェア・アップデート」の順に選択し、「Get Public Beta Updates」をオンにします。
3. 画面の指示に従って登録を完了します。
4. 「ソフトウェア・アップデート」設定で「自動アップデート」がオンになっている場合、Apple TVは最新のベータ・ソフトウェアを自動的に受信します。アップデートを手動でチェックするには、「設定」>「システム」>「ソフトウェア・アップデート」>「ソフトウェアをアップデート」の順に選択します。

オプション2: Apple Configuratorを使ってインストールする

1. AppleSeed for ITのダウンロードから、tvOSのベータ・ソフトウェアのリストイメージ (IPSW)をMacにダウンロードします。
2. AppleSeed for ITのダウンロードページまたはMac App StoreからApple Configurator 2をインストールし、このアプリケーションを起動します。
3. USB-CケーブルでApple TVをMacに接続します。
4. Apple ConfiguratorにApple TVが表示されたら、tvOSのベータ・ソフトウェアのリストイメージをApple TVにドラッグします。
5. 「復元」をクリックすると、出荷時の設定にリセットされます。
6. ベータ版をインストールすると、デバイスが再起動します。アクティベーションを完了するには、ネットワーク接続が必要です。
7. デバイス管理機能をテストしている場合は、管理対象の構成 (MC) ログプロファイルをインストールし、テスト中は使用し続けてください。このプロファイルは、FinderウィンドウからApple TVのアイコン上にドラッグ&ドロップすることもできます。

フィードバックアシスタントアプリケーションのアクティベーション

ベータ・ソフトウェアをインストールしたら、内蔵のフィードバックアシスタントアプリケーションをアクティベートします。これにより、バグを最も効率よくレポートできます。フィードバックアシスタントはバグレポート作成に役立つ主な診断情報を自動的に収集します。また、システム属性の送信も行います。iPhoneまたはiPadで、ホーム画面からフィードバックアシスタントを起動します。watchOSおよびtvOSの問題も、iPhoneまたはiPad上のフィードバックアシスタントを使ってレポートできます。Macでは、Dockからフィードバックアシスタントを起動するか、アプリケーションのヘルプメニューから「Send Feedback」を選択します。iPhone、iPad、Macのいずれをお使いの場合も、再起動してからアプリケーションを選択し、Apple IDを使用してログインします。

デバイスの登録解除

Mac、iPhone、iPad、Apple Watch、またはApple TVがAppleSeed for ITに登録されると、Appleが提供する新しいバージョンのベータ・ソフトウェアを自動的に受信します。デバイスはいつでも登録を解除することができます。登録を解除すると、アップデートの配信が停止されます。

iOS

デバイスで実行されているソフトウェアが一般に公開されているものより新しい場合、復元を行うことはできません。現行のソフトウェアをインストールするには、デバイスをリカバリモードにして、iOSのバックアップから復元する必要があります。

iOSデバイスをリカバリモードにする方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/HT201263

iOSデバイスをバックアップから復元する方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/HT204184

iPadOS

デバイスで実行されているソフトウェアが一般に公開されているものより新しい場合、復元を行うことはできません。現行のソフトウェアをインストールするには、デバイスをリカバリモードにして、iPadのバックアップから復元する必要があります。

iPadをリカバリモードにする方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/HT201263

iPadをバックアップから復元する方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/HT204184

Mac

Macの登録を解除するには、macOSのベータ・ソフトウェアをインストールする前に作成したTime Machineのバックアップを使用して復元を行います。

次の手順に従い、Macの登録を解除してください。

1. Appleメニューで「システム環境設定」を選択し、「App Store」を選択します。
2. 「お使いのコンピュータは、ベータ・ソフトウェア・アップデートを受信するように設定されています」の横にある「変更」ボタンをクリックします。
3. 表示されるダイアログで「ベータ・ソフトウェア・アップデートを表示しない」を選択します。これで、お使いのMacにプレリリース版のアップデートが送信されなくなります。

お使いのMacを以前のバージョンのmacOSに復元する方法について、詳しくはこちら：support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/mh15216/10.14/mac/10.14

ベータ・ソフトウェアのテスト

ベータ・ソフトウェアは実稼働環境でテストすることが理想ですが、ビジネス上重要なデバイスにプレリリース版のソフトウェアをインストールすることはおすすめしません。テスト用に別の環境を設定する場合、実稼働環境を複製し、できる限り同じ状態で運用してください。Wi-Fiの設定、VPNの構成、Eメールサーバ、モバイルデバイス管理 (MDM) ソリューション、さらにほかのITシステムにより、独自の環境が構築されます。そうした環境でテストすることで、ほかのユーザーには発生しないようなバグを発見し、レポートできます。

テスト計画と調査項目の実施

AppleSeedチームは、実施するべき重要なテストが含まれるテスト計画と調査項目を定期的に公開しています。テスト計画とアンケートはフィードバックアシスタントの受信ボックスに直接届きます。AppleSeedポータル「Surveys」タブでも確認できます。

まず、インフラに関する調査項目に回答してください。ここでは、あなたのITインフラ環境についておたずねします。この情報により、Appleがあなたのデバイスの使い方を判断することができます。

テスト計画のフォローアップには、Eメール、カレンダー、デバイス管理など、テクノロジーの具体的な領域のテストに関する質問が含まれます。これらのテスト計画に従い、想定どおりに実施できないタスクがある場合はフィードバックを提出してください。

ITシステム、MDMソリューション、重要アプリケーションのテスト

Appleが提供する標準的なテスト計画を完了するほかに、ベータ版のリリースごとに、次のようなITの中核となるシステムやサービスの確認作業をベータ版のテスターに割り当てます。

- Wi-FiやVPNなど、ネットワークの内部および外部からのネットワーク接続のテスト。
- Eメール、カレンダー、タスク、メモなど、Exchangeの機能の確認。
- MDMのベータ版のテスト、およびApple Configuratorのテスト。MDMベンダーへの、新しいiOSの機能のサポートに関するスケジュールの問い合わせ。
- 重要な社内アプリケーションとApp Storeのアプリケーションのテスト。
- バックエンドシステムの確認。
- Bluetoothデバイスの接続とアクセサリのテスト。

フィードバックの提出

バグのレポートや機能強化のリクエストには、iOSデバイス、iPadOSデバイス、またはMacのフィードバックアシスタントアプリケーションを利用することをおすすめします。このアプリケーションにより、問題が発生した時点でのイベントを収集することができます。フィードバックがAppleSeed for ITのレビューキューに確実に送信されるようにするため、AppleSeed for ITプログラムの登録に使用したApple IDでログインしてください。watchOSやtvOSの問題をレポートする場合も、iOSまたはiPadOSデバイスのフィードバックアシスタントを使用できます。Apple TVでフィードバックを提出するには、デバイスをペアリングする必要があります。新しいフィードバックエントリを開始し、「Other Devices」でお使いのApple TVを選択すると、ペアリングプロセスが開始されます。Apple TVが近くにあり、最新のベータ版が動作していること、iOSデバイスでBluetoothがオンになっていることを確認してください。問題を提出したら、受信したフィードバックIDを控えておいてください。このID番号により、あなたのチームとAppleがフォローアップを行う際に問題を参照することができます。

フィードバックアシスタントの定期的な使用に加え、様々なワークフローでベータ・ソフトウェアを体験した際のベストプラクティスを記録します。担当のApple Systems Engineer (SE)が、電話または訪問により、ベストプラクティスのワークフローの記録をサポートします。

注意: bugreporter.apple.comとAppleCareによって記録されたバグはAppleSeed for ITのための優先キューには送信されません。

フィードバックの確認

フィードバックアシスタントとAppleSeedポータルで、記録したフィードバック、下書きとして保存したフィードバック、追加作業を行う必要があるフィードバックを確認することができます。また、既存のバグについて追加情報を提出することもできます。

iOS、iPadOS、およびmacOSに関する追加情報の提出

問題をレポートする際は、フォームを送信するほか、Appleのエンジニアリングチームに問題を説明するためにコンソールログ、デバイスログ、スクリーンショットを提出することが重要です。iOSまたはiPadOSデバイスからもレポートを送信できますが、適切なファイルを添付するためにMacからの送信が必要となる場合があります。調査のプロセスを効率化するため、iOS、iPadOS、またはmacOSの必要なログを必ず提出してください。Mac System Information Reportはクラッシュやカーネルパニックの場合、およびハードウェアやプリント時の問題のレポートに必要です。

フィードバックと共に提供する必要があるログおよびその他の情報について、詳しくはこちら：
developer.apple.com/bug-reporting/profiles-and-logs (英語)

ログ、再現可能なテストケース、その他の情報について、詳しくはこちら：
appleseed.apple.com/sp/help/feedback

正確なバグレポートの作成

バグの修正に最も効果的なのは、バグレポートの提出です。バグレポートを提出する際は、できるだけ具体的に記入してください。以下のように、詳細な情報を可能な限り多く提出することで、Appleが問題の優先度を判断することができ、追加情報の提出が必要なくなります。

- バグにわかりやすいタイトルをつけます。それにより、Appleのエンジニアリングチームがバグの性質を簡単にすばやく理解することができ、不要な重複の回避にも役立ちます。
- 同じ問題が以前のリリースでも発生していたか、それともこのベータ版で新たに発生したのか、さらに、一貫して再現できるかどうかを説明します。
- デバイス上の動作やUIのサンプルの収集に、スクリーンショットやビデオを活用します。
- Wi-Fiのインフラ、Exchangeサーバのバージョン、MDMソリューションなど、ほかの関連するソフトウェアとシステムの詳細とバージョンを提出します。
- 概要を説明する際は次の点を明確にしてください。
 - 何が起り、その時あなたが何をしていた、なぜそれが問題だと思うのか説明します。
 - 該当する場合、テストケース、サンプルアプリケーション、サンプルプロジェクト、サンプルリンクなどを提出します。
 - エラーメッセージが表示されたら、エラーメッセージの文章、または概要を提出します。
 - 詳細な情報を提出し、あいまいな言葉使いや口語的な表現は控えてください。
- 問題を再現するための正確な手順と、関連するログを一緒に提出します。
- 想定した動作と、それに反して起こったことを明確に説明します。
- 問題の回避策を見つけた場合は、その方法を説明します。

AppleCareからのサポート

追加情報のリクエストや、新しいベータ版のリリースで問題が修正されたことを知らせる通知など、フィードバックに関するフォローアップをフィードバックアシスタントアプリケーションで受け取ります。各ベータ版のAppleSeed for ITのリリースノートには、以前のベータ版からの修正のポイントが記載されています。

AppleCare for Enterprise、またはAppleCare OS Support Agreementをご利用の場合、AppleCareと協力してソフトウェアのリリースから問題を発見し、次のベータ版で修正されていることを確認できます。AppleCare Enterprise SupportチームやApple SEからテストのサポートを受けながら、AppleSeed for ITをさらに強化できます。AppleCareチームやSEはあなたの組織や環境に精通しているので、テスト、フィードバックの提出、問題の記録について、すばやく案内できます。導入の妨げとなる問題があり、フィードバックアシスタントでレポートする場合には、お知らせください。

サポートコミュニティへの参加

AppleSeed for ITプログラムでは、Seedの参加者がプロジェクトに関する重要な情報を投稿したり、体験を共有したり、お互いに助け合ったりできるように、非公開の掲示板を提供しています。頻繁にログインして最新情報にアクセスすることをおすすめします。サポートコミュニティへのリンクは、AppleSeed for ITのページの一番上にあります。不明な点がある場合は、適切なトピックのフォルダに投稿してください。

まとめ

AppleSeed for ITプログラムに参加していただくことで、Appleのソフトウェアを一般公開する前に、Appleが問題を発見して修正することができます。ぜひベータ・ソフトウェアをインストールし、あなたのワークフローでテストしてください。テスト計画と調査項目を実施して、フィードバックをお送りください。また、導入の障害となる可能性がある問題があれば、担当のApple Systems EngineerまたはAppleCareアカウントマネージャーにお知らせください。ソフトウェアリリースのローンチを成功させるには、あなたの協力が不可欠です。